

平成 26 年度第 2 回自治体等 F M 連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事（東大阪市経営企画部資産経営室）高橋 伸吾

去る平成 27 年 1 月 30 日、大阪樟蔭女子大学及び大阪府市町村営繕主務者会議建築分科会 F M 部会との共催により、平成 26 年度第 2 回自治体等 F M 連絡会議大阪府地域会を開催しました。今回は大阪樟蔭女子大学学芸学部インテリアデザイン学科の辻壽一教授のご協力により、小阪キャンパス円形ホールにおいて開催し、大阪府内から 28 自治体 91 名、国土交通省から 1 名、大阪府外から 20 自治体 32 名、その他 6 名、合計 130 名の参加を頂きました。

講演では、まず、自治体での事例発表として、宮崎市企画財政部財政課の鶴岡修氏より「宮崎市の公共施設経営の概要 ～持続可能な、最適な公共施設サービスの提供を目指して～」を、次に、吹田市行政経営部資産経営室の新野雅一氏及び長谷川竜平氏より「有機的連携を目指して ～吹田市の取組み～」をお話し頂きました。鶴岡氏からは「総量の最適化」及び「質の向上」を経営方針として、財政課において取り組まれた公共施設の見直しについてお話し頂き、新野氏及び長谷川氏からは固定資産台帳の整備から施設保全の取組みについてお話し頂きました。

そして、三番目に、自治体等女性 F M 会のメンバーである佐倉市教育委員会教育総務課の橋本直子氏、小田原市建設部建築課の細谷夢津美氏、大東市街づくり部建築営繕課の入江智子氏及び高槻市都市創造部建築課の小川公子氏より「自治体等女性 F M 会の活動報告」として、女性 F M 会の概要から施設管理者のサポート事例をお話し頂きました。四番目に、貝塚市都市整備部住宅・公園政策課の七野司氏より「貝塚市における公営住宅政策と公共施設マネジメントについて」として、直接市民と接する住宅部局からみた公共施設マネジメントについてお話し頂きました。最後に、過去 4 回の本地域会の司会進行を務めて頂き、今回会場準備にもご尽力いただきました大阪樟蔭女子大学の辻教授より、「新東大阪市立市民会館建設地 ―学生が考える賑わい創出―」として、東大阪市の新市民会館整備に伴う行政、大学、学生との共同研究の取組みについてお話し頂きました。

講演後、辻教授のコーディネートにより、参加者からの質問に答える形でのパネルディスカッションを行い、今回の講演者及び突然壇上へ上がることとなりました建築保全センターの池澤龍三氏の貴重な経験や F M に対する想いをお聞かせ頂きました。

その後、次期幹事の選任を行い、平成 27 年 2 月より 2 年間、代表幹事が東大阪市、幹事が貝塚市、河内長野市、高槻市という体制で本地域会運営にあたることとなりました。

最後に、元池田市職員の建築保全センターの前田修氏よりご挨拶を頂いて、閉会となりました。

また、地域会終了後、大阪樟蔭女子大学学生食堂にて交流会を開催し、ご講演頂いた方々も含め総勢 62 名の参加を頂き、F M 担当者同士の意見交換や交流を図ることが出来ました。

大阪府地域会は今回が発足後 4 回目の開催となり、前回同様、東は関東地方から、西は九州地方まで、多数の参加を得ましたこと、皆様には厚く御礼申し上げます。今後も、自

自治体等のFM関係者が一堂に集い、先進事例を学びながら、情報の交換や交流を行い、自治体等の相互の連絡機能の強化を図り、各々のFMの推進を図るため、大阪府地域会を開催したいと考えております。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

